

森ノ宮医療大学は開学10周年を迎えます

森ノ宮医療大学は平成19年度の開学から10年目を迎えました。11月26日(土)には、10周年を記念したイベントを開催します。

第1部(午前)は「チーム医療」をメインテーマに学術大会を開催します。堺市立総合医療センター呼吸器内科部長の郷間巖先生による「多職種連携実践を推進する呼吸ケア・リハビリテーションチームの取り組み」と題した特別講演の後、相愛大学人間発達学部発達栄養学科の竹山育子准教授や本学の青木元邦保健医療学部長ら計7人が「多職種連携一チームで支える高齢者医療」と題した発表と討論を行います。

第2部(午後)では開学10周年記念式典を行います。淀川キリスト教病院グループ理事長の柏木哲夫先生による記念講演「終末期医療を考える」のほか、本学と包括連携協定を締結している相愛大学による弦楽四重奏を予定しています。また、10周年を記念して本学教員が制作した、認知症や腰痛などの予防のための体操『もりもり元気体操』もお披露目されます。

なお、これらの催しは東棟(イーストポート)1階の体育館兼講堂を改修した、座席数400席の新ホールで行う予定です。8月から改修工事を進め、この10周年記念イベントがこけら落としとなる見込みです。また、新ホールとイーストポート4階の大講義室(415教室)を中継でつなぐことが可能となるため、ホールの様子が大講義室にリアルタイムで映し出され、大講義室の約150席とあわせて最大約550人が同時に講演の様子を見られるようになります。



10年前



現在

森ノ宮医療大学 開学10周年記念式典の概要

日時：平成28年11月26日(土) 会場：森ノ宮医療大学 東棟(イーストポート)1階新ホール

第1部 第1回 森ノ宮医療大学学術大会(9:30~12:00)

- 特別講演「多職種連携実践を推進する呼吸ケア・リハビリテーションチームの取り組み」
堺市立総合医療センター呼吸器内科 郷間 巖 部長
- シンポジウム「多職種連携一チームで支える高齢者医療」(発表と討論)
青木 元邦氏(森ノ宮医療大学 保健医療学部長・教授)
竹山 育子氏(相愛大学 人間発達学部発達栄養学科准教授)
外村 昌子氏(本学看護学科講師)
脇 英彦氏(同臨床検査学科教授)
松熊 秀明氏(同鍼灸学科准教授)
三木屋 良輔氏(同理学療法学科准教授)
松下 太氏(同作業療法学科教授)

第2部 記念式典(13:30~)

- 開会あいさつ 清水尚道 理事長
- 弦楽四重奏 相愛大学学生
- 記念講演「終末期医療を考える」
淀川キリスト教病院グループ 柏木 哲夫 理事長
- 「もりもり元気体操」お披露目
- 閉会あいさつ 荻原俊男 学長

懇親会 15:30~
(メディカフェにて)

※内容は今後、変更される可能性があります

「もりもり元気体操」ができました

森ノ宮医療大学の10周年を記念して、本学の教員が認知症、ロコモ、腰痛、肩こり予防のための体操「もりもり元気体操」を制作しました。体操の動きをイラストで図解したリーフレットが今秋にも完成する予定です。また、DVD制作も検討しています。詳細が決まり次第、ホームページ等でご案内させていただきます。

